

「始める」を応援する 江戸川総合人生大学の情報紙

Begin!

ビギン

better life in EDOGAWA
No.
55
2025.3

特集：穂高荘宿泊研修旅行

気づく

「Begin! ~ better life in EDOGAWA」は毎号ひとつの「動詞」をテーマに皆様の「始める」を応援しています。今号は『**気づく**』『気づく』ことで江戸川区をより深く知り、暮らしをより豊かにするヒントをぜひ見つけてください。



『大王わさび農場 (安曇野市)』

リバーくん

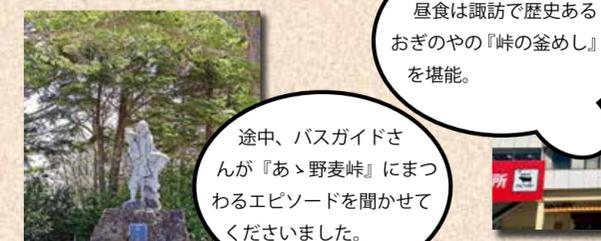
穂高荘宿泊研修

江戸川総合人生大学えどがわ入門in穂高

11月11日(月)～12日(火)、江戸川総合文化センター玄関前での出発式を終えて、20期57名の参加者は2台のバスに分乗し小春日和の青空の下、長野県安曇野「穂高荘」を目指して出発しました。



いってきます!



昼食は諏訪で歴史あるおぎのやの『峠の釜めし』を堪能。



途中、バスガイドさんが『あゝ野麦峠』にまつわるエピソードを聞かせてくださいました。



『穂高荘』に到着後、齊藤区長による【えどがわ入門】の講義。温泉に浸かった後の夕食タイムでは信州産ももジュースの乾杯から始まり前菜から甘味まで堪能。「こしひかりの刻み生姜御飯」が好評!!



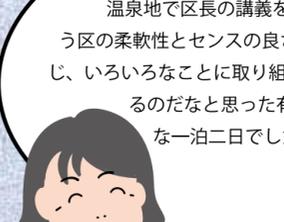
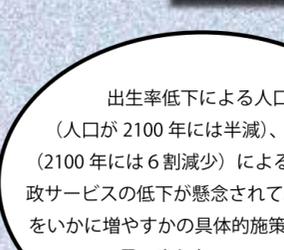
夕食の後は、テーブル対抗クイズ大会で盛り上がりました。その後は各部屋に戻り同室の皆さんとコミュニケーションを深めました。入学間もなく、まだ打ち解けていないクラスメートたちと友好を深めるよい機会でした。



その後、バスは安曇野『大王わさび農場』へ。大正時代から開拓された広大なわさび田に圧倒されました。

えどがわ入門講義

齊藤 猛江戸川区長



今後、少子高齢化人口減少になることを改めて知りました。

出生率低下による人口減(人口が2100年には半減)、歳入減(2100年には6割減少)による将来の行政サービスの低下が懸念されており、歳入をいかに増やすかの具体的な施策が必要だと思いました。

令和3年6月30日に公布された『ともに生きるまちを目指す条例』は素晴らしいと思いました。

温泉地で区長の講義を行う区の柔軟性とセンスの良さを感じ、いろいろなことに取り組んでいるのだなと思った有意義な一泊二日でした。

江戸川まちづくり学科の一員として、貢献できることを中長期的観点から実践していきたい。

江戸川区の現状、将来への課題など講義には、新たな**“気づく”**がありました!

出会いから結婚・出産・子育てまで幅広く支援しようと「子育てプラン」を既存の25から倍増させいろいろな施策を展開されており、「気づき」と「行動」を促された講義でした。

江戸川総合人生大学の学生として、一人ひとりを尊重し、支えあう社会づくりを目指すなど貢献できることから実践していきたいと思いました。

江戸川総合人生大学の学生として、一人ひとりを尊重し、支えあう社会づくりを目指すなど貢献できることから実践していきたいと思いました。

市民活動団体交流

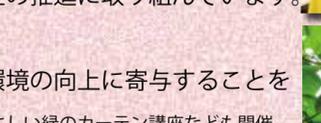
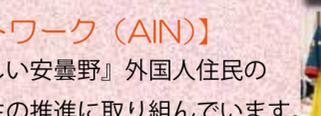
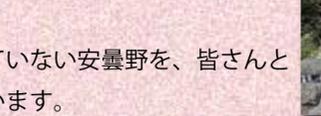
安曇野市庁舎で市民活動団体から活動の説明と意見交換会が開催され、市庁舎屋上テラス、市議会会議場も見学させていただきました。



【安曇野案内人倶楽部】地元の方にもあまり知られていない安曇野を、皆さんとともに掘り起こして伝えています。

【あづみの国際化ネットワーク(AIN)】スローガンは『世界にやさしい安曇野』外国人住民の自助・自立支援、多文化共生の推進に取り組んでいます。

【あづみ野風土舎】人と自然の絆の再生と地域環境の向上に寄与することを目的としています。※環境にやさしい緑のカーテン講座なども開催。



安曇神社大あまじ

※写真はイメージです

琉球朝顔

「あづみ野風土舎」との交流会では、安曇野を愛する地元ならではの活動とNPO法人から任意団体へ変更しなければならなかった苦労話等、貴重なお話を伺い大変勉強になりました。

安曇野民話八面大王の紙芝居は、自然に対する畏敬の念を表した不思議な力を持つ八面大王の物語。安曇野の豊かな自然の中で育まれた物語だからこそ、より心に響くのかも知れません。

帰路では『安曇野ワイナリー』に立ち寄りました。

安曇野市のキャラクター(わさびっぴ、らいすん)と、リバーくん

木の香りのする安曇野市庁舎では、沢山の若い職員さんが、私たちに拍手で迎えてくれ、嬉しいやら照れくさいやら。安曇野で文化や歴史を広め、教育や地域づくり人づくりに日々力を尽くしている方々の熱心なお話を聞いて、ディスカッションした時間は貴重でした。

ボランティア団体の皆様との和やかな雰囲気の中での、和気藹々としたディスカッションは、充実したものでした。今でも鮮明に思い出することができます。江戸川区と安曇野市との縁は未来永劫存続してもらいたいものです。



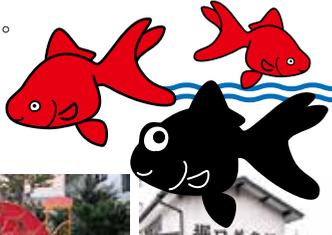
金魚のふるさと江戸川区～金魚振興策の提案

まちづくり学科 19 期の 2 年次は、「協働まち普請」の企画で班別に発表しました。私の班は「金魚ロードでまちづくり」を提案、区で 2 軒残った養魚場の一つ堀口養魚場の取材 & 金魚産業の実情を学びました。

堀口養魚場の後継者問題や少子化で金魚産業が衰退していること、井戸水の汲み上げで地盤沈下し地下水利用が規制されたことなどいろいろな事情で用地を売却し、池が半分になったそうです。

しかし、堀口さんが売却した土地にできた公園には、金魚の名が残りました。金魚祭りには、一昨年度 54,000 人が訪れ、今回は会場が 1.5 倍に拡張されました。

日本三大金魚産地の江戸川区を今後も金魚振興策で盛り上げていきたいと気づいた授業でした。



江戸川まちづくり学科 19 期 難波 紀代子

江戸川総合人生大学で、江戸川区で、人との

自分ができる事に気づく

一昨年の 10 月大決心をして江戸川総合人生大学に入学させて頂きました。

コロナ禍以後も外出する機会が減り、家に居ることが多くなってしまいました。

入学してからは、江戸川区のこと、健康に関する事も学び大学祭も級友に支えられながら、楽しく参加できました。

2 年生になり、ボランティア活動をする事になり、小さな事から始めて、仲間に入れて頂きました。

子ども食堂では、食事提供や、子ども達と遊んだりしながら皆さんとコミュニケーションをとる中で、相手の方を思いやり、私自身も楽しむことの大切さに気がつきました。

健康寿命を気にしながら、長く継続できる活動を模索中です。



子育てささえあい学科 19 期 的場 美代子

2 年次の新たな「気づき」

多文化共生とは

講義で「多文化共生」とは、国籍や民族の異なる人々が互いの文化を尊重しあい対等な関係を築きながら地域社会で共に生きていくことを意味し、本区には 2023 年 10 月 1 日現在、約 120 万 4,710 人（区の人口の 6.0% ※2024 年 10 月 1 日現在 6.7%）の外国人が暮らしており、これは 20 年前と比較すると 2 倍以上で、23 区では新宿区に次いで 2 番目であることを学びました。

区による分析では 2100 年には区内の外国人の人口は約 75,000 人、5 人に 1 人は外国人になることが推計されていることに気づきました。今後区ではますます外国人が増え「多文化共生」が重要となるため、区内在住の外国人の生活支援の拠点として 2024 年 10 月 26 日（土）、タワーホール船堀 3 階に「多文化共生センター」がオープンしました。

※多文化共生センターの詳細は QRコード からご参照ください。



国際コミュニティ学科 19 期 若林 雄司

ふれ合いの中で「気づく」がありました。

気づく

2 年目の気づき

江戸川総合人生大学の 2 年目は、1 年の終わりからスタートしている感じです。

早々に 2 年目の課題が発表され、取り組みの準備が始まります。

1 年間の座学では江戸川区の現状—私たちの学科では、高齢化や保険財政、健康な生き方とは—を学び、では私たちには何ができるのか？が 2 年目のテーマになります。区の現状を知る中で自分にできることは何か、考えるようになり、2 年目に入って、実際にボランティアを体験している自分に驚いています。ぼんやりと考えていた老後が身近になり、大袈裟に言えば、自分は今からどんな生き方をしたいのか、をシビアに考えるようになりました。



介護施設に伺っての学習風景

介護・健康学科 19 期 岡田 由紀子

Let's Begin together!! いっしょにやろう!!

「サロンすみれ」参加メンバーを募集中! ～地域のシニアライフのいこいの場作り～

シニア世代のいこいの場として昨年の2月から「サロンすみれ」を開きました。
工作教室や映画鑑賞、健康体操、茶話会などで楽しんでいます。
今後、ミニコンサートやフォークソングの会を計画しています。

場 所: 船堀コミュニティ会館 ※日時・場所の変更有
日 時: 毎週月曜日 午前11時～午後4時
参加費: 無料 ※催しにより材料費など(100円～)を徴収
興味のある方は下記まで、ご連絡をお待ちしております。



連絡先: 『サロンすみれ』 増川 瑞恵
Email: mkm.family@ezweb.ne.jp

これまで「Let's Begin together!!」に
登場いただいたボランティア団体では
江戸川総合人生大学の卒業生、学生が
大活躍中です!!そこにはたくさんの
“気づく”があるようです!!
興味のある方はぜひお問合せください。

【連絡先】
葛西ハニカムプロジェクト
運営委員会事務局 川端
なごみの家長島梨川 所長 井尻
03-3680-2753

旧中川マスコット
キャラクター
キューナくん
【連絡先】 風間 勝昭
090-4939-9410

【連絡先】 箱島 実
090-3080-1968
dtakb506@ybb.ne.jp

「多文化共生音頭」 盆踊り隊募集!

『多文化共生音頭』は簡単な手話を取り入れ、誰もが参加できる盆踊りです。文化交流、健康体操、子どもたちへの文化継承、地域の安全向上にもつながる楽しい盆踊り! 世代や国境を越えて、私たちと一緒に笑顔の輪を広げませんか?

江戸川区民まつり2024サンライズステージ



※応募方法、活動の様子はQRコードからご参照ください。

連絡先: 『多文化共生広め隊』
国際コミュニティ学科19期 越智 静香
Mail: tabunkakyosei.19@gmail.com



同窓会の窓『気づく』

同窓会では同窓会だより等の送付料金の高騰対策として、デジタル版を配信するペーパーレス化を推進しています。また、新しいコミュニケーションツールとして1,000人が登録できるLINEWORKSの導入を決定し作業を進めています。これら運営方法を現代化する取組みは会員の皆様との距離を縮め、より多くの意見交換ができる場作りとなります。会員の皆様からの多様な声は、新たな気づきに繋がり、より活気あふれる同窓会の力になっていくものと思います。今年は新たな一歩を踏み出す年、会員の皆様とともに活力ある同窓会を築いていきたいと考えています。

同窓会へのご入会は
こちらから



江戸川総合人生大学
同窓会会長 松浦 松子

☆編集後記☆

今号は第20期生の穂高荘研修での「気づく」がメインテーマです。新入生の区長講義は穂高荘で行うのが恒例です。江戸川区の現状を知り、友好都市の安曇野市の人たちと交流する中で、それぞれの気づきに期待する研修です。そして第19期生はこの1年で、その「気づく」をどう実践に結びつけようとしているのかを伺いました。

岡田 由紀子

☆編集委員☆

◎=編集長 ○=副編集長

◎川崎一男・難波紀代子(まち19期) ○岡田由紀子・鮫嶋充(介19期)
○白井たけ子・的場美代子(子19期) 戸邊国男・若林雄司(国19期)
栗原秀介・中嶋美代子(まち20期) 高橋一三・村野裕子(介20期)
池田則子・岡田和教(国20期) 岩崎通江・大林暁子・渡邊順一(子20期)

(まち)=江戸川まちづくり学科 (国)=国際コミュニティ学科
(子)=子育てさせえあい学科 (介)=介護・健康学科

【発行】
江戸川総合人生大学

〒133-0061 東京都江戸川区篠崎町7-20-19 しのだぎ文化プラザ
TEL: 03-3676-9075 / FAX: 03-3676-6545
https://www.sougou-jinsei-daigaku.net/

※編集記事に関するお問い合わせは、大学事務局まで ※ホームページでバックナンバーがご覧いただけます。

